

藩政要・皇國蒙求・謙山詩文・成庵雜説・華夷十辨・蒙養書・校正女四書等がある。文久二年七月二十七日歿。

ニシサカナリカツ 西坂成一 衷の子。通稱猪之助・三梧。諱は成一。後諱を以て名とした。食祿百五十石。明倫堂の助教となり、侍讀を兼ね、學術德行一時に稱揚せられ、廢藩の後大學寮長・文部少助教・東京府訓導等に歴任した。明治二十年七月三十一日五十七歳を以て歿。教女軌範・訓蒙軌範の著がある。

ニシサカヘイシロウ 西坂丙四郎 藩の定番御歩を勤めた。明治元年越後の役に従ひ、信濃川で大砲を以て長岡城を攻撃中、五月十八日敵弾に中つて歿した。

ニシサラ 西佐良 能美郡山上郷に屬する部落。郷村名義抄に、佐良村から西方に出村をしたものであると記する。森田平次は加能越古文叢に、南禪寺文書に見える得橋郷佐羅をこの西佐良に當て、當時は得橋郷がこゝまで擴大してゐたのであらうとしてゐるが、それは失考であらう。佐羅村雜掌の用水に就いての訴訟に關し、嘉曆二年六月九日幕府は長野惣領地頭を召喚した文書があるから、その佐羅は長野附近の得橋郷内で、西佐良とは別である。

ニシジマ 西島 江沼郡那谷谷に屬する部落。江沼志稿に、寛政中この村の畠中から、古瓦と和同開珎錢とを掘出したとある。

ニシジマ 西島 能美郡白山下に屬する島(今桑島)の内の小字。

ニシジマシ 西島新 江沼郡西島の一部であるが、大聖寺藩では獨立の一村として取扱つて居た。一名屋戸といふこともある。現

に西島に合する。

ニシシモ 西下 鹿島郡高田保なる下の部落は、明治に至り西下と改稱した。

ニシシンチ 西新地 ↓イシサカチャヤマチ 石坂茶屋町。
ニシダイフクジ 西大福寺 羽咋郡大福寺の内の小字。

ニシタカヤマ 西高山 能美郡白峰のうち河内の部落から南方に在る山。高さ一一八九米。地質侏羅系。

ニシタニ 西谷 ダニ 鳳至郡十郎原の内の小字。
ニシタニ 西谷 珠洲郡大谷の内の小字。
ニシタニ 西谷 鳳至郡仁岸郷中谷の内の小字。

ニシタフダ 西任田 能美郡板津郷に屬する部落。
ニシチヨウ 西町 金澤の町名。金澤城から西方に當るが故に名づける。

ニシチヨウグチモン 西町口門 金澤城内會所・刑場等から西町に出る門である。加府事蹟實錄には佐久間盛政の時代まで西町口が大手であつたと記する。

ニシチヨウケンカンシヨ 西町壘艦所 文久以降加賀藩に軍艦奉行を置き、壯猶館に之を屬せしめたが、後に御算用場の一部に移し、西町軍艦所と稱した。奉行は金屋與十郎であり、佐野鼎が之を輔佐した。西町軍艦所の置廢年月は今明らかでない。

ニシチヨウバシ 西町橋 金澤橋梁記に、『すぢかひ橋、西町のはし也。』とあるから、本名は筋違橋であつたらうが、後に西町橋といふた。内窓構の堀に架けた橋だが、廢藩後惣構の撤去と共に滅びた。

ニシテガハ 西出川 鳳至郡名舟なる西出谷内より發し、名舟に至つて海に注ぐ。流程二軒餘。

ニシテゲンゾウ 西出源藏 大聖寺藩末に於ける砲術家。初め酒井流を學び、次いで荻野流を習ひ、大坂の坂本鉦之進俊貞から荻野新流を受け、又金澤に至りて西洋流を傳習した。明治十五年三月八十歳を以て歿。

ニシテヤマ 西出山 鳳至郡五十洲の部落西方に在る山。高さ一〇八米。
ニシトキクニ 西時國 鳳至郡時國の中、もと加賀藩領であつた部分、即ち下時國・水門・曾々木を明治に至つて西時國と稱した。その曾々木は南時國と入會の地である。

ニシトボシ 西灯 羽咋郡阿川の内の小字。
ニシナカタニ 西中谷 鳳至郡仁岸郷中谷は、明治に至つて西中谷と改稱した。

ニシナガヒロシゲ 西永廣林 金澤の人。通稱儀左衛門。初め御算用者に召出され、俸米四拾俵を受け、年寄中席の執筆となり、後寛延三年小頭に進み、俸八十石を受け、御算用場に勤務したが、明和元年八月十九日に歿。

廣林、三池流の算法を山本彦四郎から受け、享保十年三月段數不知明解を著した。蓋し師傅によらずして自ら發明する所といふ。廣林の子廣和はその法を受けず、高弟下村幹方之を傳へた。

ニシナカヲ 西中尾 鳳至郡楯比庄の中尾を、明治に至り西中尾と改稱した。

ニシノキヨウオウ 西野慶應 金澤五寶町眞宗西派西勝寺の住職で、もと百姓町長樂寺に生まれた。號は雀庵。宗餘乘に通じ、神道に精しく、和歌を能くし、輔教に任ぜられた。明治十六年十一月廿四日七十餘歳を以て歿

し、不退院と諡せられた。
ニシノクモ 西の雲 二冊。金澤の俳人、ノ松編。元祿四年十月藤軒原田喬直跋。京井簡屋庄兵衛・金澤三屋五郎兵衛兩板。金澤の一笑の追悼集で、上巻は芭蕉以下の追悼發句及び一笑の百句を載せ、下巻には一笑の輯めた蕉門諸家の發句・附合を載せてある。

ニシノシヨウ 西庄 江沼郡に屬する。越登賀三州志來因概覽に、今この郡に郷庄名なく、唯西庄の庄號を遺すのみであるとする。或はいふ。西庄の内に熊坂村があるから、古へ熊坂庄といふたもの即ち是で、その位置郡の西方にあるから西庄になつたのであらうと。この庄内には大聖寺町領・山田町領

大聖寺町・細坪・熊坂・右・奥・谷・橋・永井・吉崎・塩屋・瀬越・上木・三・萩生・上福田・下福田の十六部落が屬する。

ニジノタキ 虹の瀧 ↓ソノボウダキ 曾の坊瀧。

ニシノマル 西ノ丸 金澤城で古く西ノ丸といふたのは後の玉泉院丸のことである。本丸から西方に當るを以てこの名があり、今の尾山神社の後方に當る曲輪である。

ニシババ 西馬場 鹿島郡淺井庄に屬する部落。大永六年十月の一宮社務職米錢納帳に西馬場の名が見え、郷村名義抄には、東馬場は西馬場から分かれたものであるとする。又西馬場の枝村に沖馬場がある。

ニシババマチ 西馬場町 金澤の町名。川右岸調馬場の近邊は都べて馬場と呼んだが、明治廢藩の後、調馬場を廢して地所を拂下げ、町名を西馬場町とした。淺野川馬場跡を東馬場と呼んだに對するものである。